

「豆本」を片手に国有林を知る ～大雪山で山岳遭難防止啓発と国有林のPRを実施～

夏山シーズンにおける安全登山を呼びかけるため、令和8年8月11日（火曜日）、大雪山系旭岳姿見ロープウェイ駅周辺において、北海道警察、北海道警友会、上川総合振興局、旭川市内高校山岳部などの関係機関による合同山岳遭難防止啓発活動が実施されました。この活動に、北海道森林管理局広報ワーキングチーム（以下「広報 WT」）の職員3名が参加しました。



旭岳姿見ロープウェイ駅



広報 WT の3名

当日は好天に恵まれ、多くの登山者や観光客が訪れる中、関係機関が連携し、登山計画書の提出や適切な装備の携行、最新の気象情報の確認など、安全登山に向けた呼びかけを行いました。

広報 WT では、山岳遭難防止の啓発にあわせて、国有林について広く知っていただくために作成したオリジナルの「豆本」を活用した広報活動を実施しました。

今回配布した豆本は、親しみやすい鳥獣登山戯画を用いた手のひらサイズの冊子で、登山や観光の合間に気軽に読める内容となっています。国有林の概要をはじめ、森林が持つ水源涵養機能、土砂災害防止機能、生物多様性の保全、地球温暖化防止への貢献など、国有林が果たす多面的機能を分かりやすく紹介しています。また、森林整備や保全活動など、普段目にする機会の少ない国有林の取組についても掲載し、森林と私たちの暮らしとの関わりについて理解を深めていただける内容としました。



豆本の配布

当日は、多くの登山者や外国人観光客、家族連れに豆本を手渡ししながら説明を行いました。受け取った方の中には、その場で興味深そうに読み始める方もおり、「大雪山周辺の森林がどのように管理されているのか初めて知った」「コンパクトで分かりやすい」といった感想が聞かれました。気軽に持ち帰ることのできる豆本という形式は来訪者にも好評で、国有林の魅力や役割を伝える有効な広報手段であることを実感する機会となりました。



登山者や観光客の皆さん

また、豆本の配布にあわせて、アンケート回答用の QR コードを掲載した案内も配布しました。アンケートでは、豆本を通じて初めて知ったことや興味を持った内容、国有林の認知度、今後知りたい情報などについて意見を募集しました。



豆本「鳥獣登山戯画」とアンケート

さらに、北海道森林管理局公式 Instagram 及び Facebook へアクセスできる QR コードも紹介し、SNS を通じて国有林や森林・林業に関する情報を

継続的に発信していることを PR しました。

来訪者がその場でスマートフォンからアクセスする様子も見られ、北海道の国有林に関する情報発信の取組について理解を深めていただく機会となりました。

アンケートでいただいたご意見は、今後の広報活動や情報発信の充実に活用していく予定です。豆本は単なる配布物として終わるのではなく、アンケートや SNS へつなぐ入り口として活用し、イベント後も継続して国有林に関する情報に触れていただける仕組みづくりを進めていきます。

広報 WT では、今後も山岳遭難防止に向けた関係機関との連携を継続するとともに、豆本をはじめとする様々な広報媒体を活用しながら、国有林の役割や魅力、森林の大切さについて広く発信してまいります。利用者の声を取り入れた分かりやすい情報提供に努め、国有林に対する理解と関心の向上につながる取組を進めていきます。



山頂を目指す登山者



旭岳